

第 26 回（2019 年度）全国銀行学術研究振興財団賞
<法律分野>

沖野 眞巳 東京大学大学院法学政治学研究科教授

〔表彰理由〕

金融法に密接に関連する債権法、倒産法、信託法、消費者法の分野における一連の業績が高い評価を得ている。

〔主要著書・編著〕

『民法演習サブノート 210 問』（共編著）弘文堂、2018 年

『講義 債権法改正』（共著）商事法務、2017 年

『信託法セミナー I～IV』（共著）有斐閣、2013 年～2016 年

『倒産法演習ノート 22(第 3 版)』（共著）弘文堂、2016 年

『倒産法概説(第 2 版補訂版)』（共著）弘文堂、2015 年

『家族法演習ノート 21』（共編著）弘文堂、2013 年

『わかりやすい新破産法—倒産実体法はこう変わった』（共著）弘文堂、2005 年

『概説新破産法』（共著）金融財政事情研究会、2004 年

〔主要論文等〕

「生命保険契約における保険料の対価性—生命保険契約における『保険料不可分の原則』再考」松本恒雄先生還暦記念『民事法の現代的課題』所収、商事法務、2012 年

「約款の採用要件について—『定型約款』に関する規律の検討」星野英一先生追悼『日本民法学の新たな時代』所収、有斐閣、2015 年

「消費者契約における定型約款の組入要件」現代消費者法 39 号、民事法研究会 2018 年

「主債務者破産後の物上保証人による一部弁済と破産債権の行使—議論の整理のために—」法曹時報 54(9)、2002 年

「約定担保物権の意義と機能—UCC 第 9 編の『効率性』に関する議論の素描」学習院大学法学会雑誌 34(1)、1998 年

「詐害行為取消権(1)要件」潮見佳男＝千葉恵美子＝片山直也＝山野目章夫編『詳解改正民法』所収、商事法務、2018 年

「相殺に関する民法改正法下の解釈問題－差押えと相殺における『前の原因』をめぐって」金融法務研究会第2分科会報告書『民法(債権関係)改正に伴う金融実務における法的課題』所収、全国銀行協会、2018年

「非典型担保－日本法における譲渡担保の展開と特色」大村敦志責任編集『民法研究第2集・東アジア編4』所収、信山社、2018年

「第3章 受託者等」「第2節 受託者の義務等(第29条～第33条)」、「第7章 信託の終了及び清算(第163条～第184条)」道垣内弘人編著『条解信託法』所収、弘文堂、2017年

「信託法と相続法－同時存在の原則、遺言事項、遺留分」水野紀子編著『相続法の立法的課題』所収、有斐閣、2016年

「第10章の2 信託財産の破産に関する特則」山本克己・小久保孝雄・中井康之編『新基本法コンメンタール破産法』所収、日本評論社、2014年

以上